

「大型商業施設」での健康相談会の活動報告

～より多くの地域住民の健康を支援するために～

行友啓悟 そうごう薬局新下関店

【背景・目的】「健康サポート薬局」は、地域包括ケアシステムにおいて、地域住民の健康の保持と増進を担う役割がある。そのため、薬局店舗内で月1回程度の健康相談会を実施しているが、収容人数に制限があり、健康測定機器を使用した健康チェックを行う場所も十分に担保できない問題点があった。そこで、より多くの地域住民を対象に、幅広い健康測定機器の使用による健康チェック及び健康全般に対する相談応需が出来る場づくりを目指し、健康相談会の開催場所を「大型商業施設」で行ったので報告する。

【方法】山口県下関市の「大型商業施設」への飛び込み訪問から、健康相談会の開催に繋がった。開催案内方法は、患者には店舗内でチラシ配布し、地域住民には新聞折込チラシと併せて商業施設館内のポスター掲示およびホームページで広告掲載をした。健康相談会は、10～17時の間に、薬局スタッフ10～12名（内、薬剤師が6～8名）で運営した。健康チェックでは、健康測定機器を使用し、血圧・血管機能・脳年齢・体組成・最終糖化産物・SPO2・握力等の測定を行った。そして、薬局薬剤師が健康全般（測定結果、薬、食事、運動等）に関する相談に対応した。

【結果】平成30年3月～平成31年2月の間、山口県A市の「大型商業施設」での健康相談会を計3回、6日間実施した。計3回の実績は、総来場者数が約700名、健康相談者が476名、総測定回数が3,325回、かかりつけ薬剤師の同意が10名だった。後日、広域処方箋の応需が6名、健康相談等の電話問い合わせ及び来局が4名だった。本相談会が同系列商業施設で大きな反響があり、広島県B市の「大型複合商業施設」から健康相談会の依頼を受け、平成30年8月・12月に計2回開催した。また、平成30年11月に、山口県C市の「大型商業施設」でも、本取り組みの事例を基に開催した。

【考察】実績から、地域住民の健康相談会に対するニーズが高いことが示唆される。また、「大型商業施設」での健康相談会は、患者以外の地域住民までも健康の保持と増進の支援および「かかりつけ薬局」を持つきっかけ作りが可能である。定期的に行うことで、「健康サポート薬局」として、地域に根付くことが期待できる。今後も地域住民の健康を総合的に担う「健康サポート薬局」として、継続的にその機能を果たすことが重要である。

【キーワード】

健康サポート薬局 健康相談会 大型商業施設